

科 目 名		学 年	
経営情報論Ⅱ： Management Information System Ⅱ		3B	
教 員 名 中岡 伊織： NAKAOKA Iori			
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	90分×15回	履修	講義・後期
学修単位 -			
授業概要 現代の企業経営において情報技術の重要性は高まっている。本講義では、情報技術が企業の戦略策定や生産、人事などに対してどのような影響を及ぼしているのかを考察する。そこで前半では経営情報システムの諸概論を、後半でシステムの開発・管理を中心に紹介する。			
到達目標		評価方法	
(1)経営情報システムの発展および諸類型について理解できる。 (2)システムの開発・管理方法について理解できる (3)近年のビジネスに必要不可欠な電子商取引について理解できる。		①中間試験(40%)、②期末試験(60%)によって評価する。	
学習・教育目標		(C)②	JABEE基準1(1)
		-	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	意思決定支援システム(1)	意思決定支援システム(DSS)の概要
	第2	意思決定支援システム(2)	DSSとその応用①
	第3	意思決定支援システム(3)	DSSとその応用②
	第4	戦略的情報システム	戦略的情報システム(SIS)の概要
	第5	エンドユーザコンピューティング	エンドユーザコンピューティング(EUC)の概要
	第6	オフィス情報システム	オフィス情報システムの概要
	第7	情報システムの開発・管理(1)	情報システムの計画
	第8	中間まとめ	中間のまとめを行い試験を実施する
	第9	情報システムの開発・管理(2)	情報システムの設計・開発①
	第10	情報システムの開発・管理(3)	情報システムの設計・開発②
	第11	情報システムの開発・管理(4)	情報システムの設計・開発③
	第12	情報システムの開発・管理(5)	情報システムの運営・管理①
	第13	情報システムの開発・管理(6)	情報システムの運営・管理②
	第14	eビジネス	電子商取引
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容			
関連科目	基礎経営学、経営情報論Ⅰ、経営管理論Ⅰ・Ⅱ		
教科書	宮川 公男『経営情報システム』中央経済社、2004年		
参考書	遠山暁 他『経営情報論 新版』有斐閣、2008年		
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員			
備考			